

消費者に危険が及ぶ製品の公表について

(緊急警戒システム 2006 年度報告)

欧州委員会は、2007 年 4 月 19 日付プレスリリース (IP/07/514) に於いて、EU を含む欧州 30 カ国で 2006 年に消費者に危険が及ぶとして、販売や生産が禁止された消費者向け製品は 924 品目に達したことを公表した。

製造国別では、全体のほぼ半分に相当する 440 品目が中国製であった。次いでドイツが 42 品目で、イタリア 38 品目、米国 27 品目、英国・日本が共に 26 品目と続いた。また全体の 17% は製造国不明であった。中国は 2 位のドイツを大きく引き離してのトップとなっており、EU では中国に対して検査体制の強化など対応を求めている。品目別で見ると、玩具が全体の 221 品目 (全体比 24%) で最も多く、初めて家電製品を上回った。次いで電気製品 174 品目 (19%)、車両 126 品目 (14%) 等となっている。(表 1 参照)

表 1 : 2006 年度分野別危険品目数 (上位 5 品目)

分野	品目数	割合
玩具	221	24%
家電製品	174	19%
車両	126	14%
照明器具	98	11%
化粧品類	48	5%

表 2 : 2006 年度に公表された自転車関連の危険品目一覧

公表日(年・月・日)	通報国	品目	原産国	危険内容	写真 No.
第 4 週 2006/02/03	フランス	自転車用ルーフラック	イタリア	負傷	①
第 7 週 2006/02/24	ドイツ	ハンドルステム	ドイツ	負傷	②
第 8 週 2006/03/03	ドイツ	サイクリング用手袋	パキスタン	化学物質	③
	ポーランド	荷台	台湾	負傷	④
第 33 週 2006/08/25	ドイツ	幼児車	中国	負傷、化学物質	⑤
第 37 週 2006/09/22	ドイツ	幼児車	中国	負傷	⑥
第 42 週 2006/10/27	ドイツ	ビンディングペダル	フランス	負傷	⑦
第 46 週 2006/11/24	オランダ	パンク修理キット	ドイツ	発ガン物質	⑧
第 51 週 2007/01/03	オランダ	パンク修理キット	ドイツ	化学物質	⑨

※幼児用三輪車は除く。

車両については、その殆どは自動車やオートバイであり、自転車関連の危険品目は表 2 のとおりである。部品やアクセサリ類を含めてもわずか 9 品目であり、完成車は 2 品目に過ぎず、他製品に比べればはるかに少ない数である。

欧州委員会は食糧品を除く全ての危険性のある消費者向け製品に関して、緊急警戒システム (RAPEX) により通報を行っている。ここ数年、RAPEX の通報は急激に増加しており、2006 年度は前年比で約 3 割も増加した。2004 年からは倍増している。(表 4 参照) 2006 年最多の通報国はドイツで 144 件、次いでハンガリー 140 件、ギリシャ 98 件、英国 92 件及びスペイン 79 件の順であり、この上位 5 カ国で全体の 6 割を占める。同委員会ではシステムの通報数の増加は、EU 全域で監視が強化された成果であるとしている。

表 3 : 2006 年度 危険内容別品目数

危険項目	品目数	割合
負傷	274	25%
感電	270	24%
やけど・火災	194	18%
窒息	157	14%
化学物質	95	9%

※1 品目で複数の危険項目を含むものがあり、合計は 924 品目とならない

表 4 : RAPEX の通報件数の推移

年度	2003	2004	2005	2006
通報件数	67	388	701	924
前年比(%)	-	579	180	131

因みに 2005 年度の自転車関連の危険品目は合計 10 品目であり、内訳は完成車 4 品目 (台湾及びスロベニア製幼児車計 2 台、原産地不明の BMX1 台、中国製電動自転車 1 台)、部品 1 品目、アクセサリ・付属品類 5 品目であった。更に 2004 年度は完成車 2 品目 (MTB、電動自転車、いずれも中国製)、部品 2 品目、アクセサリ 1 品目であった。現在、2007 年度については、第 15 週分 (2007/04/20) で、マレーシア製 MTB 類型車が危険品目として既に通報されている。

RAPEX では、メルセデスベンツ (自動車) からわずか数ユーロのキーホルダーに至るまで様々な製品が社名、製品名及び危険内容等が写真と共に公表されている。昨年、日本でもガス瞬間湯沸かし器や家庭用シュレッダー等に関する事故情報の公表の遅れが大きな社会問題となり、消費生活用製品安全法が改正され重大な製品事故情報の報告が義務化された。各企業は EU 諸国のみならず市場へ製品を供給する際は、十分な安全確認や品質管理、事故情報の迅速な公表が今後ますます求められる。

2006 年自転車関連危険品目一覧



① 自転車用ルーフラック



② ハンドルステム



③ サイクリング用手袋



④ 荷台



⑤ 幼児車



⑥ 幼児車



⑦ビンディングペダル



⑧パンク修理キット



⑨パンク修理キット

出所：RAPEX・2006年報告